

# 駒千代の丘

笑顔と意欲いっぱい チーム岡中



岡本中学校だより

令和3年7月16日(金)

7月号



## 家庭・地域と共に育む 自立・共生・貢献 ～社会で活躍する人材の育成～

もうすぐ夏休みです。7月12日(月)～15日(木)の4日間で教育相談を実施しました。4月から3か月間の学校生活を振り返り、夏休みに向けての目標を確認する機会となりました。

昨年度は4月～5月の臨時休校による授業数減への対応で、夏休みが大幅に短縮されました。今年は、コロナ禍ではありますが、約6週間の夏休みを迎えることとなります。子どもたちは、しばらくの間、家庭や地域に帰ります。感染症防止に努めながら、普段の生活ではできないことに挑戦し、充実した夏休みにできることを願っています。

### 3年生進路学習会 学び続ける生徒&学び続ける教師&学びを支える環境

6月29日(火)の午前中に、3年生を対象とした進路学習会を実施しました。

すでに実施した進路希望調査の結果をもとに、近隣の高等学校4校(県立小田原高等学校、県立足柄高等学校、県立小田原城北工業高等学校、立花学園高等学校)から進路担当の先生をお招きしました。

密を避けてクラス別にお話を伺い、それぞれの学校の特色や選抜方法について、公立高等学校と私立高等学校の違いについて情報を得ながら、自分の進路決定に向けての参考としました。3年生にとっては、高等学校の先生から直接情報を得る貴重な機会とすることができました。

夏休み以降、各校において説明会や見学会等が企画されています。実際に参加することで、通学にかかる時間等も体験することになります。多くの情報から、自分に必要な情報を得る力を身につけることも大切な学びです。



### 岡本中学校区生徒指導対策会議 学びを支える環境

7月7日(水)、岡本中学校区において、子どもたちを見守っていただいている皆様をお迎えして、生徒指導対策会議を開催しました。

冒頭には南足柄市教育委員会 飯山敏明教育長様からご挨拶をいただき、参加者より情報提供、松田警察署からは櫻庭スクールサポーターをお迎えして、地域の現状等についてのお話を伺いました。

夏休みを前に、保護者からのSNS使用に関する指導や地域での子どもたちの見守りの重要性が確認されました。パトロールについては、「ながら見守り」が紹介されました。散歩などに出かけたときに、ついで見守りを行う活動です。防犯意識をもちながら行うことが大切だというお話でした。

夏休みを間近に控え、学校と地域が連携することで、子どもたちが夏休みを安心して安全に家庭や地域で過ごせることを願っています。

### 祝オリンピック代表 松枝 博輝 選手

岡本中学校の平成20年度卒業生である、松枝 博輝 選手が東京オリンピック陸上競技男子5000mの代表選手に内定しました。岡本中時代には陸上競技部の長距離のエースとして活躍し、その後、相洋高等学校、順天堂大学に進学、箱根駅伝も走り、現在は実業団の富士通で活躍されています。卒業生の活躍はとてもうれしく、誇らしいですね。みんなで応援しましょう。



今年も池田和男元校長様からヒマワリの鉢植えをいただきました。

## 岡本中学校区幼・小・中連携教育合同研究会

学び続ける教師

7月8日（木）、岡本中学校区の岡本幼稚園、岡本小学校、岩原小学校、そして岡本中学校の教職員が参加して、合同研究会を開催しました。

研究会の内容は講師に「美文字王子」の愛称で知られ、メディアなどでは「美文字研究家」として紹介されることが多い横浜国立大学教育学部教授の青山浩之先生をお迎えして、「文字を書くこととその教育～人に優しい文字を書く～」をテーマにご講演をいただきました。

「相手にとって読みやすい文字」「相手も心地よく読んでくれる文字」「自分らしく思いの伝わる文字」が、人に優しい文字というお話をいただきました。

また、美しい文字を書く秘訣として、「手首固定法」「すき間均等法」「中心線串刺し法」といったメソッドを実技と共に学びました。

幼稚園、小学校、中学校のそれぞれの場面で、人に優しい文字を考える機会となりました。



## 足柄上・南中学校総合体育大会

学び続ける生徒&学び続ける教師

6月26日（土）から、3年生にとっては最後の大会となる、足柄上・南中学校総合体育大会が各会場にて始まっています。

コロナ禍の中で、無観客であったり、3年生の保護者だけの応援だったりではありますが、昨年度のような縮小した形ではなく、各競技が実施されています。7月3日（土）の大雨の時には、この地域にも土砂災害警戒情報（警戒レベル4）が出され、各競技は延期の対応をしました。

今後、大会だけでなく、校内における部活動についても、警戒レベル4の状況では中止とすることとし、早めに連絡ができるよう校内体制を整えてまいります。

### 【校長室の窓から】

もうすぐ夏休みです。3年生にとっては義務教育最後の夏休みです。私自身にとっても、中学校現場で迎える最後の夏休みです。

仕事柄、「学校の先生は夏休みがあつていいですね」と言われ続けてきました。実際の教職員の夏休みは5日間ですが、子どもたちと同じように「夏休み」と思われているようです。

今年は県内中学校の夏の総合体育大会の担当地区が県西地区であることと、足柄上・南地区が中心となって運営にあたることになっていきますので、7月一杯は多くの教職員が役員として参加することになります。8月は上旬と下旬に研修会等が多く、実際にホッとできるのは、お盆休みぐらいでしょうか？「学び続けるものだけが教えることができる」という言葉がありますが、夏休み中に、9月以降の授業準備のための教材研究、さらには研修会が設定されています。それでも普段よりは自分の時間があり、心と体を休めるという点では、教職員にとっても大切な時間です。

私が子どもの頃、夏休みで一番記憶に残っているのは小学校の時に毎日のようにプールに行っていたことです。夕方は近所の神社に蝉取りに行き、ついでに幼虫を捕まえてきて、家のカーテンに登らせて羽化する様子を観察したこともよく覚えています。翌朝に蝉が部屋でジージーと鳴き出して叱られたこともあり。なぜかプールに向かう道の風景や神社の蝉がたくさんいる木の場所は鮮明に覚えています。もちろん中学時代の最後の夏の大会も鮮明に思い出されます。

「人は経験と時間で作られている」という言葉があります。夏休みは、子どもたちが家庭や地域に戻る期間です。もちろん中学校では部活動も実施しますが、普段より多くの時間を家庭で過ごすこととなります。

約40日間の夏休みですが、子どもたちが豊かな経験とかけがえのない時間をとおして、大きく成長することを願っています。そして、8月30日に明るく元気な姿で再会できることを願っています。

